

学校経営の概要

大田市立池田小学校

1. 学校教育目標

やってやれないことはない 今をがんばる池田っ子

(自ら考え 自ら行動し、周りに関わりながら何事にも挑戦する子どもの育成)

キャッチフレーズ

“明日も笑顔で見たくなる学校”

【めざす児童像】

- 意欲をもって自ら学ぶ子
(新しいことに挑戦し)
- 正しく思いやりのある子
(自分と友だちのために)
- たくましく元気な子
(笑顔ですごそう)

【めざす教師像】

- 使命感と情熱のある教師
(子どものために)
- 認め合い協力し合う教師
(先生方といっしょに)
- 柔軟な発想と実践力のある教師
(やってみよう)

【めざす学校像】

- 安全で学び合い、磨き合い、
笑顔あふれる元気な学校

★大田市学校教育プラン

たくましく 人間性豊かな子どもの育成

「生きる力」をはぐくむ教育

1. たくましい心身と豊かな感性を養う教育
2. 個性を生かし、自ら学び、自ら考える力を培う教育
3. ふるさとを愛し、広く外に目を向ける心をはぐくむ教育

大田市教育ビジョン

◎基本理念「わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く」

【基本方針1】「生き抜く力を育てる」～三瓶山のように根を据え高く

【基本方針2】「あるもの」を活かす～石見銀山や琴ヶ浜、里、山、海そして、ひと

【基本方針3】地域を支え、創る ～共に引き継ぐ芋代官の気概

2. 学校経営の基本方針

☆人権教育・同和教育を全ての教育活動の基底に据えて、人権尊重の精神の高揚を図り心豊かな児童の育成めざす。

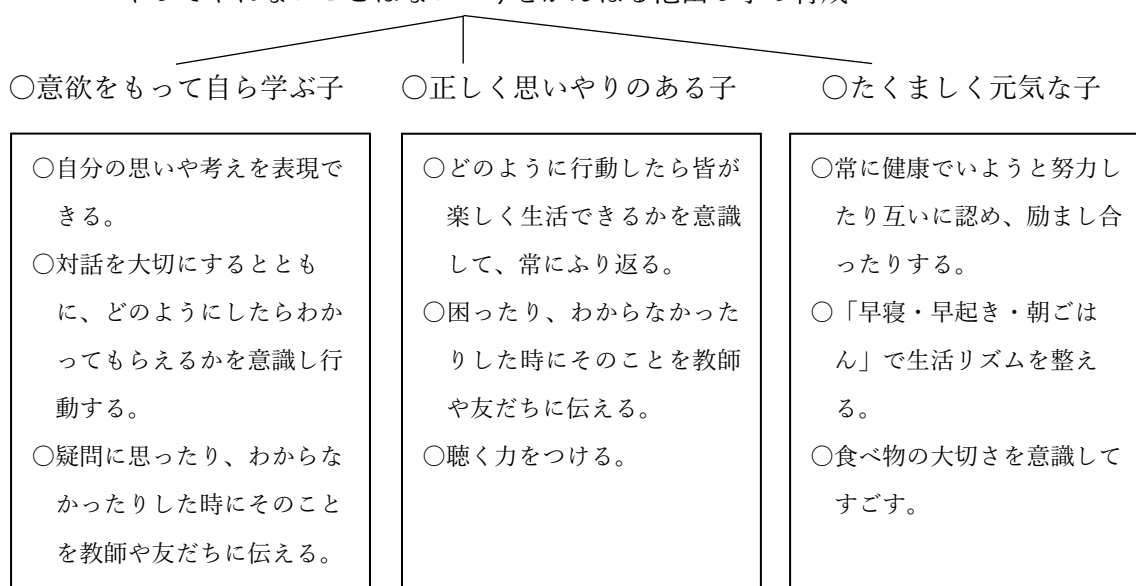
- (1) 学習指導要領、県教育方針、大田市教育方針及び本校の実態に基づいた教育を推進する。
- (2) 人権尊重に徹した人間味あふれる教育活動の展開に努める
- (3) 子ども一人ひとりの自立に向けて自己実現を図る。
- (4) 学校・家庭・地域の役割を明確にし、お互いに協力しながら取り組む教育活動の推進を図る。
- (5) 地域の特徴を十分に生かした教育活動の推進を図る。
- (6) 職員一人ひとりが、自らの責任を自覚し、常に自己研鑽に励み、より質の高い教育活動を目指す。

3. 学校経営の課題

- (1) 人権教育・同和教育のあり方
- (2) 閉校に向けて教育課程のあり方（高学年教科担任制に対して複数担任制の挑戦）
- (3) 合同学習のあり方（川合小、三瓶三校）
- (4) 振り返りの場の設定のあり方（体験と語彙の一致・情と知の獲得）
- (5) 不登校傾向児童への対応と予防的な取組

4. 長期目標

やってやれないことはない 今をがんばる池田っ子の育成



5. 本年度の重点目標

(1) あたま確かな学力を育む授業の充実

(学習意欲や課題意識を高める工夫、基礎基本の定着、学びの振り返り、活用の工夫)

(2) こころ豊かな人間性や社会性を育む指導の充実

(人権同和教育の推進、思いやる心の育成、愛校心、郷土愛の育成、道徳科の充実)

(3) からだたくましい心と体を育む指導の充実

(運動能力を高める取組、自己管理能力の育成)

6. 本年度の重点目標および達成のための具体的方策

(番号は重点目標 ○は具体的方策 ・は具体的な取り組みを示す)

(ア) 確かな学力を育む授業の充実あたま

○学習意欲や課題意識を高める工夫

- ・教材との出会いの工夫 (子どもの心に火をつけて)
- ・自分なりの考えや方法で取り組める場の工夫

○基礎基本の定着

- ・書き取り会、計算会を毎月全校一斉に実施し、定着を図る
- ・池田っ子当たり前10ヵ条の定着・継続を図る
- ・毎日の「これだけタイム(10分)」の導入

○学びの振り返り、活用の工夫

- ・授業の終わりや行事には必ず振り返りを行う(挙手、ノート、発言)
- ・学んだことを定着させる学習の仕方の工夫

(イ) 豊かな人間性や社会性を育む指導の充実こころ

○人権同和教育の推進

- ・人権、同和教育の日常化チェックリストを活用し職員の意識化を図る
- ・同和問題学習や人権学習の取組を実施し、職員の課題意識を高め、家庭や地域の意識の啓発を図る。

○思いやる心の育成

- ・ あいさつはまず思いやりの第一歩の意識付け
- ・ 道徳科の時間の振り返り（道徳ノートの活用）
- ・ 合同学習や、グループ学習などの教育活動での交流の場の設定

○郷土愛の育成

- ・ 地域（池田地区、大田市、島根県）ふるさと学習の実施と充実
- ・ 緑の少年団活動の充実
- ・ 地域の教材化への挑戦（池田小、田植えばやしの歴史発表）

（ウ）たくましい心と体を育む指導の充実 からだ

○運動能力を高める取組

- ・ 体育学習における指導過程の工夫
- ・ 業間マラソンの継続や姿勢体操の継続的な実施
- ・ 基本的生活習慣の定着を図るため、生活リズムチャレンジの実施

○自己管理能力の育成

- ・ 食に関する指導の充実
- ・ 基本的生活習慣の大切さを積極的に指導していく
- ・ メディア教育の充実

※＜開かれた学校づくり＞

（４）家庭・地域との連携の推進をめざして

○家庭との連携の推進

- ・ PTA 総会での経営方針説明（４月）・HP の積極的配信
- ・ 閉校記念学習発表会の実施（２月）
- ・ 学級便り、学校便りの定期的な発行

○計画的な教育相談の実施

- ・ SC の活用推進
- ・ 家庭との情報共有、連携の推進（同じ方向を向いて子どもに接する）

○学校評価の活用（PDCA サイクルを大切に）

○閉校に向けて PTA 活動への積極的参加と支援

○地域との連携の推進

- ・ 学校だより、会合を活用した双方向の情報共有
- ・ 児童、教職員の地域行事への積極的参加（できる範囲で）

○学校運営協議会の開催

- ・ 学校の様子を話すと同時に学校における課題を提案し助言をもらう